

特大容量タンク搭載のビジネスインクジェットプリンター“GX4030”を発売 低ランニングコストと高画質を両立し多様化した働き方をサポート

キヤノンは、特大容量タンク「GIGA TANK（ギガタンク）」を搭載したビジネス向けインクジェットプリンター「GXシリーズ」の新製品として、ファクス機能搭載のインクジェット複合機“GX4030”を 2022 年 11 月 10 日に発売します。



GX4030



製品設置イメージ



「背面水平トレイ」で厚手の紙への印刷も可能

働く場所や働き方の多様化に伴い、コストを抑えながら、オフィス・自宅など幅広いビジネスの現場で、ビジネス文書や制作物を印刷したいというニーズが高まっています。“GX4030”は低ランニングコストでありながら、高画質なビジネス文書の印刷が可能な全色顔料インクを採用しています。さらに新たな給紙口として「背面水平トレイ」を搭載し、使い方の幅を広げるとともに、こだわりのデザインや操作性で使い勝手を向上しました。

1. 低ランニングコストながら全色顔料インク採用で高画質を実現

「GIGA TANK」の搭載により、インクコストは A4 モノクロ文書 1 ページあたり約 0.9 円^{*1}、A4 カラー文書 1 ページあたり約 2.2 円^{*1}を実現しています。また、ブラックインクボトル（別売り）1 本分の容量で A4 約 9,000 ページ^{*2}、カラーインクボトル（シアン／マゼンタ／イエロー、別売り）の場合は A4 約 21,000 ページ^{*2}の大量印刷が可能です。新製品は全色で顔料インクを採用しており、小さな文字や両面印刷でも鮮明で裏写りが少なく、印字部にマーカーを引いてもにじみにくい^{*3}ため、書き込むことの多いビジネス文書の印刷に適しています。

2. 「背面水平トレイ」を新たに搭載し厚手で曲げられない用紙にも印刷可能

「前面給紙カセット」と「背面給紙トレイ」の 2 タイプの給紙に加えて、「背面水平トレイ」を新たに搭載し、3 タイプの給紙を実現します。「背面水平トレイ」では厚手の用紙を曲げることなく給紙でき、ビジネスシーンで使用するさまざまな掲示物の印刷に活用できます。封筒やラベル紙などの多様な用紙・サイズにも対応しているため、1 台で幅広い制作物が印刷可能です。またウェブアプリケーション「PosterArtist」を利用することで、特別なデザインスキルがなくても本格的なポスター／チラシ／カレンダーなどを簡単に作成できます。

3. 使い勝手にこだわったデザインと操作性

トレイの開閉など操作部に分かりやすい新デザインを採用したほか、注入しやすいインク注入口の搭載や本体前面側からのメンテナンスカートリッジ交換も可能になり、メンテナンス作業が容易になります。

^{*1} 税込み。普通紙使用、標準モード時。インクコストは「家庭用インクジェットプリンターの印刷コスト表示に関するガイドライン」〈一般社団法人電子情報技術産業協会（JEITA）制定〉に従い記載しています。測定環境の詳細は、キヤノンホームページをご参照ください。

^{*2} エコノミーモード時。標準モード時はブラック約 6,000 ページ、カラー約 14,000 ページ。印字可能枚数は、A4 カラー文書 ISO/IEC 24712 を使用し、キヤノン独自の測定方法で算出したものです。いずれも初めてプリンターを使用する際に充填（じゅうてん）したインクボトルではなく、2 回目以降に充填するインクボトルを使用して算出しています。

^{*3} 用紙やマーカーによってはにじむ場合があります。マーカーは印刷後 5 分程度経ってからの使用を推奨しています。

製品名	希望小売価格	発売日
GX4030	オープン価格	2022年11月10日

-
- 一般の方のお問い合わせ先 : キヤノンお客様相談センター 0570-08-0067
 - ビジネスインクジェットプリンターホームページ : [canon.jp/bij](https://www.canon.jp/bij)

〈主な特徴〉

1. 低ランニングコストながら全色顔料インク採用で高画質を実現

- 特大容量タンク「GIGA TANK」搭載により、インクコストは A4 モノクロ文書 1 ページあたり約 0.9 円（税込み）、A4 カラー文書 1 ページあたり約 2.2 円（税込み）の低ランニングコストを実現。
- エコノミーモードの場合、ブラックインクボトル（別売り）1 本分の容量で A4 約 9,000 ページ、カラーインクボトル（シアン／マゼンタ／イエロー、別売り）の場合は A4 約 21,000 ページの大量印刷が可能。
- くっきりと読みやすい「黒文字」、視認性の高い「カラー文字・グラフィック」を印刷できるキヤノン独自開発の顔料インクを採用。
- 紙が濡れたり、マーカーを引いたりしても、にじみにくく、こすれにくい印刷を実現。「GX6030」（2021 年 5 月発売）より色再現のコントラストを向上し、明度の高いカラーの図表や図形を濃く再現可能。
- A4 モノクロ文書で毎分約 18.0 枚^{*1}、A4 カラー文書で毎分約 13.0 枚^{*1}と、ビジネスシーンで求められる高速印刷を実現。



カラー印刷の高画質化
左は「GX6030」、右は新製品で印刷
（画像はイメージ）

※1.普通紙への文書印刷速度は ISO/IEC 24734 のオフィスカテゴリテストによる片面印刷 ESAT（Estimated Saturated Throughput）の平均値です。

2. 「背面水平トレイ」を新たに搭載し厚手で曲げられない用紙にも印刷可能

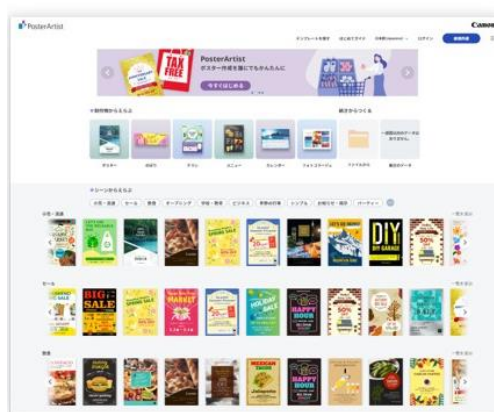
- 3 タイプの給紙を実現。A4 などの普通紙を 250 枚給紙できる大容量の「前面給紙カセット」、写真用紙／封筒／ラベル紙など多様な用紙種・サイズに対応する「背面給紙トレイ」に加え、厚手の用紙を曲げることなく印刷可能な「背面水平トレイ」を新たに搭載。
- 「背面水平トレイ」を活用することで、堅紙のポスターや POP などの内製化が可能。
- ウェブアプリケーション「PosterArtist」（無償）を利用することで、特別なデザインスキルがなくても簡単にポスター／チラシ／カレンダーなどを作成可能。



3タイプの給紙トレイ



ポスターアーティストで作成した感染防止ポスター



ポスターアーティスト作品例

3. 使い勝手にこだわったデザインと操作性

- 操作部・持ち手を強調したデザインを採用し、開閉しやすいADF（自動原稿送り装置）給紙カバー／スキャンカバー、引き出しやすい排紙トレイ／給紙カセットなどを搭載。操作ボタン位置や形状を変更するなど、操作ボタンの視認性も向上。
- これまで本体背面にあったメンテナンスカートリッジ交換や、給紙ローラークリーニングを本体前面側に集約し、メンテナンス作業の効率化を実現。
- インク注入口のキャップは掴みやすい形状を採用。キャップの根本部分にバネを付けたことにより、簡単に開けることが可能。



本体前面でメンテナンスカートリッジを交換可能



バネが付いたインクキャップ

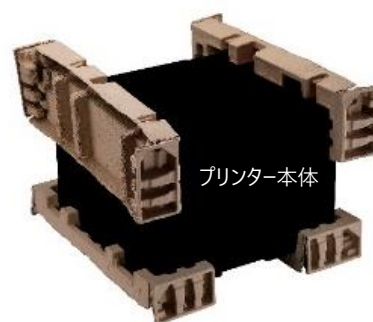
4. Wi-Fi との接続性やセキュリティが向上

- スマートデバイスからワイヤレス印刷が可能な無線ダイレクトモードが Wi-Fi 5GHz に対応。
- Wi-Fi 5GHz は通信規格「IEEE802.11n／IEEE802.11a」に加え「IEEE802.11ac」にも対応。
- 不正アクセスや情報漏えい防止の観点からオフィスでも安心して使用できるとされる「WPA3-SAE／WPA3-SAE EAP（AES）」「IEEE802.1X」「TLS1.3」に対応。

5. 環境に配慮した取り組み

- 緩衝材を発泡スチロールからパルプモールド^{※1}に変更。プラスチックを削減し、焼却時の有害物質排出を抑制。
- 本体の部材の一部に再生プラスチックを使用し環境負荷の削減に貢献。

※1.古い新聞紙や雑誌などを水に溶かし、乾燥させて成形した緩衝材。



環境に配慮したパルプモールド製の緩衝材を使用

〈インクジェットプリンターの市場動向〉

インクジェットプリンターおよびインクジェット複合機の市場において、2021 年の出荷台数は国内では約 348 万台、全世界では約 5,786 万台でした^{※1}。2022 年の出荷台数については国内では約 367 万台、全世界では約 5,649 万台と見込まれています^{※1}。

※1.出典：IDC Worldwide Quarterly Hardcopy Peripherals Tracker, 2022Q2

〈製品仕様について〉

製品仕様の詳細はキヤノンホームページをご参照ください。

- * Wi-Fi は、Wi-Fi Alliance の商標または登録商標です。
- * その他記載されている商品名等は、一般に各社の商標、または登録商標です。